



スバル BR9/BM9

ボディブラケット

34005-AF001

取付・取扱説明書

この取付・取扱説明書をよくお読みになり、当商品の内容をご理解された上で取付・取扱いを正しく行ない、ご使用くださいますようお願いいたします。
また、今後のメンテナンスの為に、この取付・取扱説明書は、お客様のお手元に置かれ、大切に保管しておいてください。

注意事項とお願い

●この取付・取扱説明書には次のマークを使用しています。



警告



注意

警告、注意は特に重要な事項です。
必ず読んでお守り下さい。



警告

安全の為に必ず守って頂きたいこと。

守らないと死亡や重大な障害につながる恐れがあります。



注意

安全の為に必ず守って頂きたいこと。

守らないと障害や事故につながる恐れがあります。



アドバイス

取付けの為に守って頂きたいこと。

- 記載事項に従わない取付けを行なった場合は、当商品の機能等を阻害するばかりではなく、車両等の不具合につながる恐れもありますので、絶対に行わないで下さい。
- 車両装着前に当商品の「外観キズ」「部品欠品有無」を必ずご確認ください。装着後のこれらの不具合につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当商品は取付時・取付後に発生した、いかなる不具合につきましても、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 一部車両において、車体フレームに加工を施すこととなりますので、将来、お車の査定に対して不利に働く恐れがあります。予めご了承ください。

この取付・取扱説明書は必ずお客様に渡してください。(大切に保管してください。)

E65400-F42611-00

2011/2/23発行

Ver . 3-3.01

お客様へ

■ 取扱い上の注意

⚠ 注意

1. 当商品は適合車両以外には絶対に使用、取付けをしないでください。破損や事故の原因となることがあります。
2. 当商品の加工、分解は絶対に行わないでください。
3. 当商品を装着後、運転中に異常が発生した場合は、直ちに車両を止めて整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故につながる恐れがあります。
4. 当商品は取付状態も含め、いつも正常な状態を保つよう必要に応じて車両の点検を行なってください。
5. 劣化、破損などにより本来の状態を維持していない場合は、速やかに交換を行なってください。

■ 部品適合表

当商品の装着は、次の適合表に合ったもので行なってください。

車種名	型式	製品番号
レガシィ	BR9/BM9	34005-AF001

■ その他

- 当商品はAF003/004/007/008との組合せの場合のみ適合としています。他社製品の排気管との組合せでは車体に干渉する場合があります。当社ではそれらの仕様について、一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

取付上の注意

⚠ 警告

1. 事故防止のため、車両への取付けは必ず手順に従って行なってください。

⚠ 注意

2. 火傷等を防止するため、車両、エンジンを停止し、マフラーが完全に冷えてから作業を行なってください。また作業時は必ず防護眼鏡等を着用してください。

📖 アドバイス

3. ボディとボディブラケット本体に油分・汚れ等があると、正しく装着できない場合があります。必ず油分・汚れ等を拭き取ってから作業を行なってください。
4. 当商品の取付けは、認証工場での装着を推奨致します。

パーツリスト

連番	品名	数量	備考
1	ボディブラケット ASSY Front	1	
2	ボディブラケット ASSY Rear	1	
3	六角ボルト M8 P1.25 L20	4	M8 P=1.25 L=20
4	インプルナット M8 P1.25	4	M8 P=1.25
5	スプリングワッシャー M8	4	
6	プレートワッシャー M8	4	
7	六角ボルト M6 P1.0 L20	1	M6 P=1.0 L=20
8	インプルナット M6 P1.0	1	M6 P=1.0
9	スプリングワッシャー M6	1	
10	プレートワッシャー M6	1	
11	サーモシール	1	300×300
12	取扱説明書	1	

取付手順

車両により取付方法が若干異なります。まず始めに図 1-1 の丸印部分をご確認ください。

①丸印部分に M6 P1.0 のボルトが締め付けられるタップ穴が開いている。

→ **2** の 1. 組付順序 (タップ有) へお進みください。

②タップが切られておらず、φ7 の穴だけ開いている。

→ **6** の 1. 組付順序 (タップ無) へお進みください。

1. 組付準備 (タップ有)

(1) 車体右側の右メインマフラーを収めるスペース内のフレームに付いているグロメットを全て外してください (7個)。 * 図 1-1 参照

(2) 図 1-1 に図示している箇所のホコリや油分などの汚れを取り除き、付属のサーモシールを貼付けてください。 * 図 1-1 参照

取付手順

(3) 図1-2に示す4箇所に付属のインプルナットを挿入し、タブを手前に引きながらめくり、ナットの凸部をグロメット穴に合わせてタブを折り曲げてください。

*6. インプルナット組付方法参照

この際、フレーム側面の2箇所では自重によりナットが落ちてしまうので、マスキングテープ等で仮固定してください。

(タブ自体がストッパーとなり、グロメット穴に引っかかるので、フレーム内にインプルナットが完全に落ち込むことはありません)

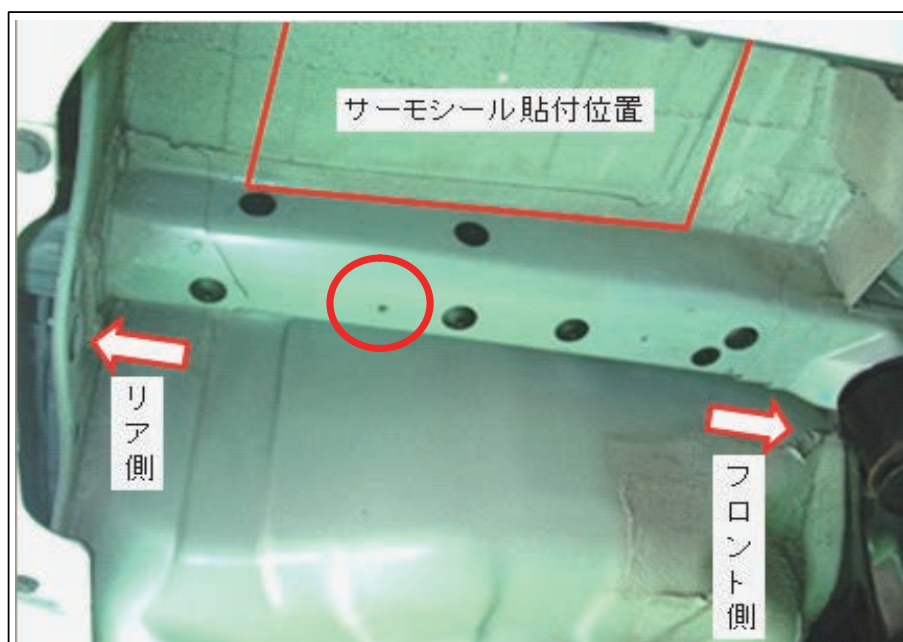


図1-1

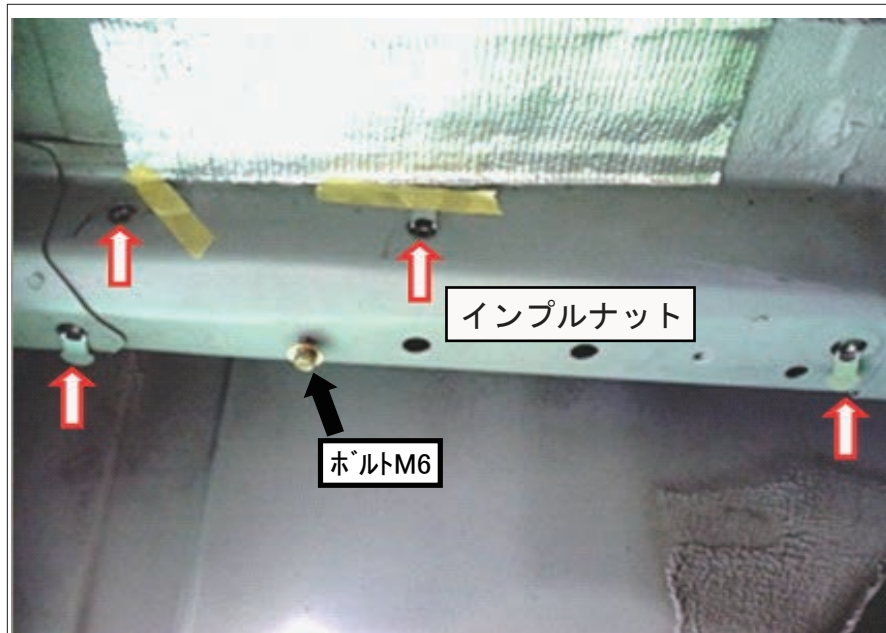


図1-2

取付手順

2. フロントブラケットの仮組付け

- (1) 付属のボルト (M6) をフレーム下面のサービスホール (M6) のうち後方のものに仮締め付けしておいてください。(フレームとボルト頭との隙間を5~10mm程度にしておいてください。)
- (2) ブラケットの吊り下げ用フックに32018-AF003/004/007/008に付属のラバーステーをはめておいてください。
- (3) ブラケット後部の長穴をM6ボルトとフレームの間に入れ、ブラケットとインプルナットの穴位置を合わせてください。
- (4) 付属のボルト (M8) にスプリングワッシャ (M8)、プレーンワッシャ (M8) を順に通し、図2のようにブラケット穴の残り2箇所に入れ、ブラケット、フレーム、インプルナットの順に取り付けて、仮締め付けしておいてください。



図2

3. リアブラケットの仮組付け

- (1) 2. (1) で仮締め付けした M6 ボルトをいったん外してください。
- (2) ブラケットの吊り下げ用フックに 32018-AF003/004/007/008 に付属のラバーステーをはめておいてください。
- (3) 付属のボルト (M8) にスプリングワッシャ (M8)、プレーンワッシャ (M8) を順に通し、フレーム下面後方のインプルナットに仮締め付けしておいて下さい。
(フレームとボルト頭との隙間を 5 ~ 10mm 程度にしておいてください。)
- (4) 図 3 のようにブラケット後部の長穴を、仮締め付けしたボルトとフレームの間に入れ、ブラケットとインプルナットの穴位置を合わせてください。
- (5) 付属のボルト (M8) にスプリングワッシャ (M8)、プレーンワッシャ (M8) を順に通し、フレーム側面のブラケット穴に入れ、ブラケット、フレーム、インプルナットの順に取り付けて、仮締め付けしておいてください。
- (6) 付属のボルト (M6) にスプリングワッシャ (M6)、プレーンワッシャ (M6) を順に通し、ブラケット前部の長穴とフロントブラケットの長穴を通しフレーム下面のサービスホール (M6) のうち後方のものに仮締め付けしておいてください。



図3

4. 本組付け

- (1) 自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランスおよび、インプルナットのずれを確認しながら、仮締め付けしてあったボルトとナットを指定トルクで締め付けてください。

締め付トルク N・m(kgf・m)

M8 T=19.6~24.5N・m (T=2.0~2.5kgf・m)

M6 T=7.8~9.8N・m (T=0.8~1.0kgf・m)

5. 装着状態の確認

- (1) 全体の本組付けが完了したら、ブラケットを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出る事があります。

図4：取付完成図

以上で弊社ブラケットの装着が完了しました。なおマフラー本体の装着に関しては、32018-AF003/004/007/008の取扱説明書をご確認下さい。

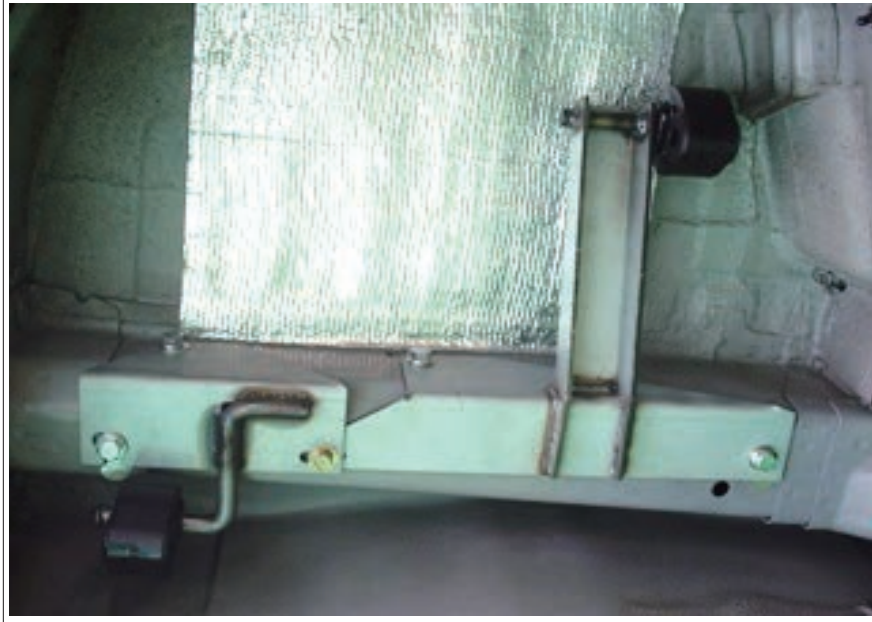


図4

1. 組付準備（タップ無）

※図 1-1 の丸印部分に M6 P1.0 のタップが切られていない車両へ本品を装着する際には車両フレームに開けられた穴を拡大加工する必要があります。また、フレームに加工を施すこととなりますので、将来、お車の査定に対して不利に働く恐れがあります。

予めご了承ください。

- (1) 車体右側の右メインマフラーを収めるスペース内のフレームに付いているグロメットを全て外してください（7個）。 * 図 1-1 参照
- (2) 図 1-1 に図示している箇所のホコリや油分などの汚れを取り除き、付属のサーモシールを貼付けてください。 * 図 1-1 参照
- (3) 図 1-1 丸印部分の $\phi 7$ 穴を電動ドリル等で $\phi 10.2$ まで拡大加工してください。
($\phi 10.2$ のドリルがなければ $\phi 10.5$ でも可)
- (4) フレーム内面、外面のバリを除去して、防サビ塗料等でサビ止め処理を行なってください。
- (5) 図 1-2 に示す 4 箇所付属のインプルナット (M8) を挿入し、タブを手前に引きながらめくり、ナットの凸部をグロメット穴に合わせてタブを折り曲げてください。また、 $\phi 10.2$ に拡大加工した穴に付属のインプルナット (M6) を挿入し、タブを手前に引きながらめくり、ナットの凸部を加工した穴に合わせてタブを折り曲げてください。

*6. インプルナット組付方法参照

この際、フレーム側面の 2 箇所では自重によりナットが落ちてしまうので、マスキングテープ等で仮固定してください。

(タブ自体がストッパーとなり、グロメット穴に引っかかるので、フレーム内にインプルナットが完全に落ち込むことはありません)

取付手順

2. フロントブラケットの仮組付け

- (1) 付属のボルト (M6) を加工した穴に挿入したインプルナット (M6) に仮締め付けしておいてください。(フレームとボルト頭との隙間を5~10mm程度にしておいてください。)
- (2) ブラケットの吊り下げ用フックに32018-AF003/004/007/008に付属のラバーステーをはめておいてください。
- (3) ブラケット後部の長穴をM6ボルトとフレームの間に入れ、ブラケットとインプルナットの穴位置を合わせてください。
- (4) 付属のボルト (M8) にスプリングワッシャ (M8)、プレーンワッシャ (M8) を順に通し、図2のようにブラケット穴の残り2箇所に入れ、ブラケット、フレーム、インプルナットの順に取り付けて、仮締め付けしておいてください。



図2

取付手順

3. リアブラケットの仮組付け

- (1) 2. (1) で仮締め付けした M6 ボルトをいったん外してください。
- (2) ブラケットの吊り下げ用フックに 32018-AF003/004/007/008 に付属のラバーステーをはめておいてください。
- (3) 付属のボルト (M8) にスプリングワッシャ (M8)、プレーンワッシャ (M8) を順に通し、フレーム下面後方のインプルナットに仮締め付けしておいて下さい。
(フレームとボルト頭との隙間を 5 ~ 10mm 程度にしておいてください。)
- (4) 図 3 のようにブラケット後部の長穴を、仮締め付けしたボルトとフレームの間に入れ、ブラケットとインプルナットの穴位置を合わせてください。
- (5) 付属のボルト (M8) にスプリングワッシャ (M8)、プレーンワッシャ (M8) を順に通し、フレーム側面のブラケット穴に入れ、ブラケット、フレーム、インプルナットの順に取り付けて、仮締め付けしておいてください。
- (6) 付属のボルト (M6) にスプリングワッシャ (M6)、プレーンワッシャ (M6) を順に通し、ブラケット前部の長穴とフロントブラケットの長穴を通し加工した穴に挿入したインプルナット (M6) に仮締め付けしておいてください。



図3

4. 本組付け

- (1) 自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランスおよび、インプルナットのずれを確認しながら、仮締付けしてあったボルトとナットを指定トルクで締付けてください。

締付トルク N・m(kgf・m)

M8 T=19.6~24.5N・m (T=2.0~2.5kgf・m)

M6 T=7.8~9.8N・m (T=0.8~1.0kgf・m)

5. 装着状態の確認

- (1) 全体の本組付けが完了したら、ブラケットを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出る事があります。

図4：取付完成図

以上で弊社ブラケットの装着が完了しました。なおマフラー本体の装着に関しては、32018-AF003/004/007/008の取扱説明書をご確認下さい。



6. インプルナットの組付方法

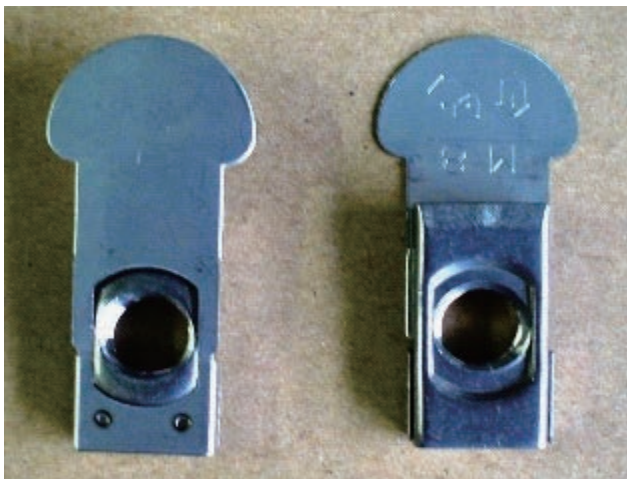


図6-1. インプルナット

(1). グロメット穴にインプルナットを挿入



図6-2

(2) タブを手前に引きながらめくり、ナットの凸部をグロメット穴に合わせてタブを折り曲げてください。

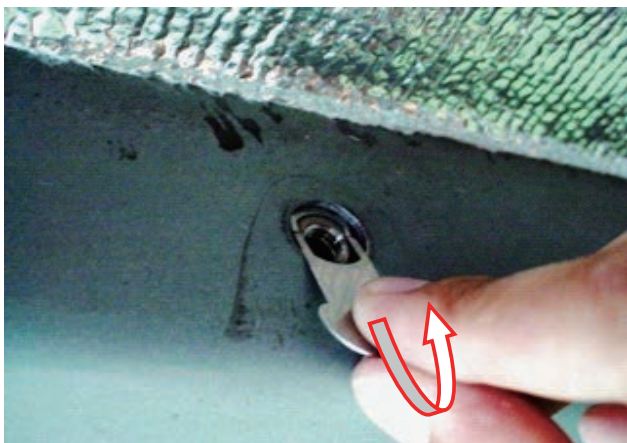


図6-3

(3) 図6-4の場合（フレーム側面の2箇所）ではインプルナットの自重によりナットが落ちてしまうので、マスキングテープ等で仮固定してください。



図6-4



株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192

静岡県 富士宮市 北山 7181

<http://www.hks-power.co.jp/>